



# あけぼのつうしん

No.79

2022年3月25日発行

〔目次〕

## ■ 注目！ notable case ～道内図書館（室）トピックス～

- 置戸町立図書館 本とランチのテイクアウト . . . . . 1
- 利尻町交流促進施設どんと郷土資料室（図書室）  
利尻の竹籠づくり～展示貸出しで企画も蔵書も充実～ . . . . . 3
- 旭川市中央図書館 Facebook で書影を使う！ . . . . . 4
- 雪ミク×図書館コラボ企画 . . . . . 6

## ■ 令和3年度市町村活動支援事業実績報告

- (1) 運営相談・派遣事業 . . . . . 9
- (2) 重点運営支援事業 . . . . . 12
- (3) 学校図書館運営相談事業・道立学校図書館運営相談事業 . . . . . 13
- (4) 学校ブックフェスティバル事業 . . . . . 14
- (5) 学校図書館サポートボックス事業 . . . . . 15
- (6) 支援貸出し 大量一括貸出し・事業貸出し . . . . . 17

## ■ 令和3年度全道図書館専門研修報告2

- 子ども読書（地域支援） . . . . . 18
- 経営（関係法規） . . . . . 20

## ■ 道内図書館キャラクター紹介！ Vol.2

. . . . . 21

## ■ お知らせ

- (1) 事業貸出し〈学習支援セット〉に「縄文文化セット」が仲間入り . . . . . 22
- (2) 令和4年度（2022年度）大会・研修会等情報 . . . . . 22
- (3) 第61回北海道図書館大会記録について . . . . . 22
- (4) 支援貸出用資料譲渡のお知らせ . . . . . 23

北海道立図書館



図書館と  
町内飲食店との  
連携

置戸町立図書館



本と ランチの  
テイクアウト

menu

**目的：**図書館の利用促進、町内飲食店への応援、町民へ豊かな時間を提供  
**期間：**7月～11月の土曜日で合計7回実施（緊急事態宣言中は自粛）  
**周知：**実施内容・ランチメニューのチラシを全戸配布、町HP、町内発行の新聞  
**場所：**図書館のロビー、入口周辺  
**事業内容：**新型コロナウイルス感染症対策として、図書館での滞在時間を短くするため、本のセットとランチを持ち帰り、自宅で過ごす時間を豊かにしてもらう。

**図書館：**おすすめ本や希望のジャンルなどを数冊セット。来館や電話でランチの注文を取りまとめ、4日前に飲食店に通知する。

**利用者：**図書館に本の希望とランチを注文する。当日は事前に予約していたランチの料金を支払い、本のセットと商品を受け取る。

**飲食店：**町内10店舗が参加できる日程・回数で店舗にないオリジナルのメニューを考案。当日は飲食店員が図書館で事前予約された商品を利用者に渡す。

**事業実績：**全7回 利用者数延べ239人、ランチ注文個数799個

🍴 **きっかけ**は、「コロナ禍ですっかり図書館離れた町民にこんな時こそ本を読んでもらいたい」、「コロナ禍で影響を受けている町内飲食店をどうにかして助けてい」という職員の二つの想いから、本とお弁当をテイクアウトして、自宅で楽しんでもらおう！という企画を立てたことでした。予算は、図書館に滞在する時間を短くするために作成する「おすすめセット」の本の購入費と飲食店への謝礼金として、「新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金」を活用することとし、6月議会の補正予算可決を経て7月からスタートしました。



▲7・8月のチラシ 10店舗が参加

🍴 置戸町の人口は1万人以上いた時代から現在は2,700人程度に減少し、**町内の飲食店**数は10店舗です。コロナ禍で大きな打撃を受けているスナックなど酒類のみを扱う店舗や菓子店、食堂など10店舗すべてに声掛けし、1軒1軒口頭で趣旨を説明しました。

7・8月は本のセットの**テーマ**を「夏と旅」として、飲食店の方には「お店にないメニューと本のテーマに合わせたネーミングを考えてほしい」、「当日の販売は飲食店の方が図書館で行うこと」など無理難題をお願いしましたが、「おもしろそうだね、いいよ！」と全ての店舗に快諾いただきました。

## ■注目！ notable case

🍴 **メニューを載せたチラシ**は全戸配布し、完全予約制としたため、職員が事前に本の希望とランチの注文をカウンターや電話で聞き取り、「はい！オムハヤシライスとカツのせチャーハンひとつずつですね！」など、図書館事務室が繁盛している食堂のような活気に溢れました。

中には「お弁当だけでいいです、本は読まないから」という方もいて、一瞬「え！？」と言いきなりになりましたが、この方はお弁当がなければ図書館に来ない人だ！そういう人こそ図書館が探し求めているのであり、一歩でも足を踏み入れてもらえるなら「いいです、いいです！ぜひご利用ください！」と大歓迎で迎え、次の時には「雑誌セット」を借りていただくことにつながりました。

🍴 **当日**の土曜日は、10～13 時までの時間帯に取りに来ていただき、ご近所さんの分をまとめて注文する方や職場単位で注文いただく方が多かったため混雑することもなく、後半は 30 分早く終わることができました。もちろん、換気や密にならないよう感染対策に十分配慮しました。

当初 7～10 月まで月に 1 回、計 4 回実施する予定でしたが、飲食店の方から「もっと回数を増やしたい」との要望もあり、緊急事態宣言中を除き、11 月までに計 7 回実施しました。

🍴 セットの本以外の「**あなたのご希望に合わせてセレクト**します」との呼びかけには、「では僕（私）に合う本をお願いします」とか「ばあちゃんが眺められるよう字が少なめで写真が綺麗な本を」とか「ノンフィクション系で冒険に行きたくなる本」、「賢い生き方の本」、「ほっこりする字の少ない本」、「音楽に関することが出てくる本」「家の中が片付かないので簡単にできる掃除と収納の本」、更には「前回みたいな感じでお願いします」(!?) などなど、変化に富んだ希望が寄せられるようになりました。

相手の見えないままセット本を組んでいく難しさとはまた別の、「こんな感じで喜んでもらえるだろうか」とハラハラドキドキしながらの**本選び**でしたが、後日、利用された方から、「あのセット私にぴったりでした！」「とても面白かった！」「次回も楽しみにしています」などの感想が寄せられ、職員としてもうれしい手応えを感じることができました。

また、普段食べる機会がなかったスナックのお弁当は、この事業をきっかけに個人や団体からの注文を受けることにつながりました。

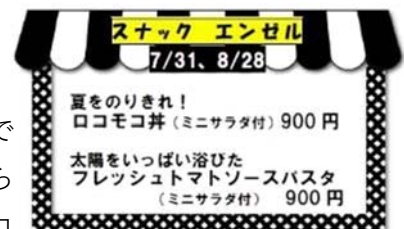


のセット私にぴったりでした！」「とても面白かった！」「次回も楽しみにしています」などの感想が寄せられ、職員としてもうれしい手応えを感じることができました。

また、普段食べる機会がなかったスナックのお弁当は、この事業をきっかけに個人や団体からの注文を受けることにつながりました。

🍴 **図書館と飲食店がコラボ**し、本とランチの両方を楽しんでもらうという事業は、人口 2,700 人の小さなまち「置戸町」だからこそ取り組めたことかも知れません。しかし、終わりの見えないコロナ禍で疲弊した町民の方々へ図書館サービスを届けること、大打撃を受けている飲食店の方々へ直接ビジネス支援を行えたことでマスクの下の笑顔を確認することができました。

緊急事態宣言下で数度の休館を余儀なくされ、改めて図書館の役割が問われていると感じます。これからも、地域の皆さんに楽しんだり喜んだりしてもらえるよう、頭を柔らかくして図書館運営に励んでいきたいと思ひます。



Case2

寄稿 利尻町交流促進施設どんと郷土資料室（図書室） 佐藤 里恵

## 利尻の竹籠づくり～展示貸出しで企画も蔵書も充実～

利尻町交流促進施設 郷土資料室では、10～12月までの期間、北海道立図書館から展示用資料を借り受けて「竹籠特集」展示を実施しました。

町で初めて実施される「竹籠づくり講習」に併せて、はりきって企画した展示。ですが、いざ蔵書を調べてびっくり！竹かご関連の本が1冊もないではありませんか！かごの本があっても、みなクラフトテープで作るものばかり・・・。



しかし、そこでハッと気づいたのです。「無ければ借りればいいんだ！」と（受けてよかった新任職員研修）。

その後、道立図書館から関連本を18冊お借りして、無事に展示することができました。



展示期間中に、御年83歳の藤田講師がちょこちょこと見本の竹細工を作って持ってきてくれ、最終的には利尻産の笹で作ったカゴやザル、コーヒードリッパーなど合計7つが本と一緒に並びました。本の貸出し自体は少なめでしたが、(^\_^)、たくさんの人に興味を持ってもらえました。頂いた作品は、現在もまとめて図書室に置いてあり、他の展示にも使わせてもらっています。

また、道立図書館からお借りした竹細工関係の本の中から3冊を選んで、我が図書室でも購入しました。離島では大きな書店がないため、気になった本の内容を確認することができません。その点、今回はとても助かりました。

講習会は当初予定の4回を終えても素材となる竹ひご作りがなかなか進まず（なにせ、山に笹を取りに行くことからなので・・・）、年明けに予定していた講習もコロナ感染増加の為、今はまだ延期中です。

ですが、今ではいつでも図書室に竹籠の本がありますので、安心してみなさんにご紹介できるのが嬉しいです。

※材料の“竹”は「根曲がり竹（チシマザサ）」のことです。利尻では昔から籠づくりに使われてきたそうです。



## Facebookで書影を使う！



昨年6月から旭川市図書館では、“Facebook 特命チーム”を結成して、広報活動をしてきました。

その中で、今年の1月～2月にかけて更新した「あさひかわの漫画家さん」という全7回（予告編＋6回）連載にむけて行った“書影を使用するための許諾”についてお話しします。

みなさんの図書館がSNSやHPで新着図書等を紹介する際の参考になれば幸いです。

## 問い合わせる時って、どうやったらいいの？



### ● 問い合わせたい出版社のHPをチェック！

まずは、そこから指定されている方法で問い合わせをしました。問い合わせ先が細分化されている出版社もあれば、ざっくりとした出版社もある……という印象です。

### ● 使いたい画像や付随する文章は、問い合わせ前にあらかじめ作成しておく

メールフォームやメール添付等で求められる場合があるので、お勧めします（あくまで“その方が安心”程度）。逆に、「書影の使用は許諾しますが、文章の添削・校正はお断りします」という出版社もありました。

### ● 現物を手元に置いて問い合わせ

電話での問い合わせの際は、“使用したい資料の著者名・書名・巻数・ISBN”などをすぐ答えられるように、現物を用意しておいた方がいいと思います。

### ● 問い合わせ用の文章テンプレートを作成しておく

数社相手にメールで問い合わせる際の業務負担を軽くするためであり、相手にスムーズに伝えるためでもあります。

## 実際やってみて、どうだった？



問い合わせを開始したのが12月の下旬からで、正直「年末で多忙だろうし、早くても返事はひと月後かな」と考えていたのですが、一番早い出版社で即日、遅くても2週間、平均して1週間以内で返事が来ました。（電話・メールフォーム・メールという方法で、全9社に問い合わせました。）

## 出版社から得られた回答と対応は……

- (1) 著者名・タイトル・出版社名を明記し、トリミングや加工をせず使用するならばOK。出版社のコーポレートサイトの画像を使用しても良い。
- (2) 「当社では許諾を出せない作品です」との回答。  
(その後、図書館が著作権管理を委託されている別の会社へ問い合わせさせてOKを貰った場合と、著者への連絡先が分からず使用を断念した場合とに分かれました。)
- (3) 許諾自体はOKだが、紹介文章には「こういう表現は使わないで欲しい」という注意点が具体的に示された。



- (4) 担当編集者が著者へ連絡を取ってくださり、許諾が得られた。

回答は(1)が一番多かったですが、あとはそれぞれの出版社・著者の意向等により、対応はバラバラという印象でした。ちなみに、書面の提出は一切求められませんでした。

今回の一連の流れの中で強く感じたことは、「予想していたより、アッサリ許諾してもらえるものなんだなあ」ということでした。もっと煩雑な手続きや、使用不可の返事がくると思っていたのですが、好意的な返事をしてくださる出版社さんが多かったです。

何事も 恐れずチャレンジしてみるべき! と今回の件で学びました。

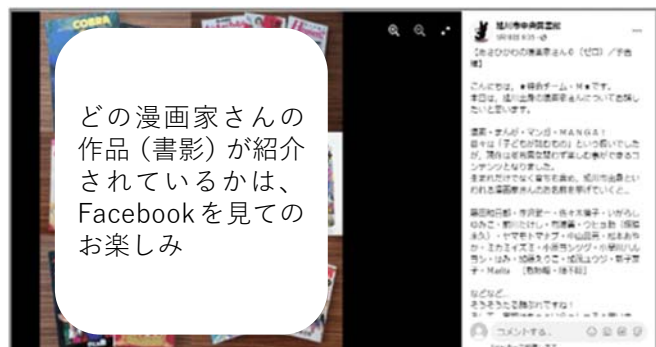
※「あさひかわの漫画家さん」予告編の URL※

<https://www.facebook.com/1506579029577762/photos/a.1508851489350516/3197611060474542/?type=3&theater>



または、検索エンジンで「旭川市図書館 Facebook」と検索してください。

▶ 令和4年1月18日が連載開始日です。



恵庭 札幌 小樽 北見 石狩 道立 出版社

# 雪ミク×図書館コラボ企画

河出書房新社による塗り絵本『初音ミクの塗り絵 雪ミクコレクション』の刊行を記念して、道内の公共図書館と河出書房新社のコラボ企画を開催しました。

期間中に開催図書館にお持ちいただいた塗り絵作品を館内に展示するほか、「雪ミク」塗り絵の見本イラストの展示、恵庭市立図書館、北見市立中央図書館ではワークショップも実施されました。全道6つの図書館で行われたこの企画を紹介します。

## 「雪ミク」って？

「雪ミク」誕生のきっかけは、札幌市にあるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社が製造・販売している音声合成ソフトであり、バーチャル・シンガーでもある「初音ミク」のキャラクター雪像を2010年のさっぽろ雪まつりで制作したことでした。以来、雪ミクを主役にしたフェスティバル『SNOW MIKU』が毎年開催され、テーマに沿ってインターネット上で広く募集した衣装を身につけた雪ミクが登場し、北海道を応援する各取組のアンバサダーを務めています。

2021年は「北海道の雪をイメージした『イルミネーション』」、2022年は「北海道の冬をイメージした『海』」が衣装のテーマになりました。



### 恵庭市立図書館

展示：1月8日（土）～1月30日（日）

ワークショップ：1月5日（水）（参加者：幼稚園～中学生 9名）



イラストが得意な学校司書が講師として児童に簡単なレクチャーをし、塗り絵を制作しました。完成した作品は参加児童の了承を得て1月30日（日）まで展示しました。

## 市立小樽図書館

展示：1月15日（土）～2月4日（金）

「北海道の応援キャラクター雪ミクが大好き！～雪ミクと雪ミク芸術祭応援企画～」と題して展示を行いました。「雪ミク×デジタルアート・コンテスト 2021」入賞作品を展示するとともに、市内書店で開催中の雪ミクコーナーを紹介しました。展示中に配布していた塗り絵は人気で、用意するとすぐなくなっていたようです。コロナウイルスの感染拡大時だったため、ステイホーム中の楽しみになったのではないのでしょうか。



## 北海道立図書館

展示：1月29日（土）～2月13日（日）

北海道応援キャラクターである雪ミクに関連して、北海道教育委員会の取組「雪ミク芸術祭」の入賞作品のうち、2021年と2022年の塗り絵部門の受賞作品を道立図書館内の多目的室を使用して展示しました。



「雪ミク」が、雪まつりでの雪像制作をきっかけに誕生したことから、道立図書館では塗り絵作品の展示と同時開催のかたちで、第1回の「ミロのヴィナス」から第71回の「雪ミク」まで、冬の祭典さっぽろ雪まつりで女性をテーマとして制作されてきた様々な雪像にスポットを当て、道立図書館所蔵の絵はがきにより、女性像の今昔をたどる展示を行いました。



## 「雪ミク芸術祭」って？



「雪ミク芸術祭」は、道内の特別支援学校などに在籍する幼児及び児童生徒を対象に、雪ミクをテーマに塗り絵やイラスト作品を募集するもので、ICTを活用した芸術活動をとおして児童のICT活用能力の向上、美術や美術文化と豊かにかかわる資質や能力の育成を目的としています。応募作品は「北海道立特別支援教育センター」のWebサイト上ですべて見ることができます。

「雪ミク芸術祭」塗り絵部門入賞作の展示は、北海道立図書館と市立小樽図書館で行われました。

### 札幌市中央図書館

展示：1月27日（木）～2月19日（土）

札幌市中央図書館では、1階こどもの森で「雪ミクぬりえを楽しもう！」の展示を行いました。幼稚園児から大人まで色鉛筆やコピックなどの様々な道具を使った塗り絵、計15点が展示されました。画材の使い方や塗り絵についての本と一緒に展示したほか、図書館職員も塗り絵に参加し、企画を盛り上げました。



### 北見市立中央図書館

展示：2月16日～2月27日（日）

ワークショップ：2月19日（土）



ワークショップ当日は、普段から公民館で大人向けの塗り絵の講座などで講師を務める中島操さんが、小学生から大人まで4名の参加者に向けて色鉛筆の基礎的な使い方を説明しました。参加者は塗る方向や色の選び方、重ね方ひとつで同じ絵柄でも個性が出てくることを実感していました。

展示には、15点の塗り絵作品が寄せられました。

### 石狩市民図書館

展示：2月18日（金）～3月13日（日）

石狩市民図書館では、参加者に『初音ミクの塗り絵 雪ミクコレクション』に収録されている16作の塗り絵用紙を先着順で配布し、完成した作品を展示しました。加えて、『初音ミクの塗り絵 雪ミクコレクション』をご自身で購入して塗り絵に取り組まれた方からも完成作品の提出があり、全14点の塗り絵作品が集まりました。

塗り絵作品の展示とともにイラストの描き方、画材の使い方などについての資料も展示しました。





## ■令和3年度市町村活動支援事業実績報告

### (1) 運営相談・派遣事業（24市町村・団体）

市町村立図書館等や教育委員会、各地域の図書館振興協議会の研修会や複数の団体がお互いにスキルアップを目指す学習会等に当館の職員を派遣し、助言や情報提供等を行う事業です。

令和3年度（2021年度）は、感染症対策をとって各市町村を訪問したほか、Web会議システムを利用したオンライン運営相談や、資料送付によるオンデマンド研修等の方法も利用して、図書館の環境改善や選書等に関する相談をはじめ、多岐に渡るテーマに対応しました。




 オンライン（Zoom利用）

 資料送付によるオンデマンド

#### ◆市町村

管内	市町村名	実施日	相談内容
空知	岩見沢市	6/30	・レファレンスサービスで活用できるデータベースについて
石狩	石狩市	2/25	・レファレンスインタビューと利用者対応
後志	ニセコ町	7/21	・地域資料コーナーの配架、構成について
	古平町	7/29 【来館】	・図書館設置に向けて（図書館の意義と役割、図書館サービスの基本、条例・規則など）
胆振	壮瞥町	7/29	・絵本の修理、製本について（講義・演習）
日高	様似町	1/26	・図書館の利用促進 ・地域資料の収集、保存、活用 
檜山	奥尻町	2/25	・学校図書館の環境改善 ・本の修理の参考情報 
上川	士別市	2/18	・電子図書館・電子書籍貸出サービスの今とこれから 
	名寄市	8/31	・利用者対応に係る職員研修（図書館における合理的配慮など） 
	幌加内町	7/17	・絵本の読み聞かせ講習会①入門編
9/25		・絵本の読み聞かせ講習会②実践編	
留萌	留萌市	3/25	・著作権について ・利用者対応とレファレンスサービス ・市民の図書館利用を拡大するために
宗谷	利尻町	6/29	・選書と除籍の基準 ・地域資料保存と活用方法 ・学校図書館の運営

## 令和3年度市町村活動支援事業実績報告

管内	市町村名	実施日	相談内容
オホーツク	紋別市	7/20	・学校図書館の活用 
		11/14 ～15	・郷土資料のいろは：北海道を調べる ・郷土資料の取扱いについて
十勝	清水町	2/2	・Y Aサービスの拡充について 
	豊頃町	12/2 【来館】	・学校図書館の整備と管理、運営方法
釧路	釧路市	7/30	・レファレンスサービスの基本など（初任者向け） 

### ◆地域・管内

管内	研修名	実施日・会場	研修テーマ・講演内容等
空知	空知管内図書館協議会 研究集会	11/5 芦別市立図書館	・子ども読書推進の取組事例（情報提供）
	北空知3町合同司書会	9/15 秩父別ファミリー スポーツセンター	・個人情報掲載された資料の取扱い ・図書館資料の弁償について ・寄贈資料の受入等について など
日高	日高管内図書館振興協議会 研究集会	12/3 日高町立門別図書館 郷土資料館	・図書館と著作権 ～著作権お悩み相談室～
渡島	渡島管内 図書館職員研修会	10/29 函館市中央図書館	・公共図書館（室）と学校図書館の 連携について
上川	上川管内図書館協議会 研究集会	1/28 	・特色のある児童サービスについて（道内事例）
オホーツク	北見地区 公共図書館（室）研修会	10/29 北見市立中央図書館	・これからの公立図書館と司書（図書館職員）に求められること
	網走ブロック 公共図書館職員研修会	9/15 	・図書館に関わる著作権法の動向について
釧路	釧路管内 公共図書館協議会	2/4 	・コロナ禍から考えるこれからの図書館サービスのあり方



◆◆◆◆◆事業紹介◆◆◆◆◆

令和3年度(2021年度)は、子ども読書に関するお申込みを多数いただきました。市町村や管内にうかがっての対面実施やオンライン配信など、様々な形態で行いました。

**幌加内町 (会場：幌加内町生涯学習センターあえる 97)**

**講義「あなたにもできる！読み聞かせ～入門編・実践編～」**

読書ボランティア育成の足がかりとして、絵本の読み聞かせ講習会を行いました。7月、9月の2回設定し、それぞれ「入門編」「実践編」としました。入門編では絵本の選び方や持ち方等の基礎的な講義、実践編では2人組での読み聞かせに参加者全員で取り組みました。

**芦別市 (会場：芦別市立図書館)**

**令和3年度空知管内図書館協議会研究集会 情報提供「子ども読書推進の取組事例」**

国・都道府県・市町村単位での読書活動推進の根拠となる法律に基づいて解説を行ったあと、「こどもの読書週間」における各道内市町村の取組の中から好例を抜粋して事例を紹介しました。

展示やおはなし会など図書館にあるものでできる始めやすい取組から、地域から講師を呼ぶなど地域連携等も視野に入れた取組まで幅広く紹介しました。また、道立図書館の事業貸出しや支援活動用の資料の活用を案内したほか、昨年度のコロナ禍における各図書館の休館中の取組もあわせて情報提供を行いました。

対面での開催 ▶



**旭川市 (会場：旭川市中央図書館 [YouTube]、道立図書館研修室 [Zoom])**

**令和3年度上川管内図書館協議会研究集会 情報提供「特色のある児童サービスについて 道内事例ピックアップ」**

会場である旭川市中央図書館にて情報提供を行う予定でしたが、まん延防止等重点措置に伴う新型コロナウイルス感染症対策のため、急遽 Zoom 配信へ変更しての開催となりました。

午前の部は、旭川市中央図書館職員の方が YouTube の限定配信で技術研修「郷土史レファレンスの手法と実際－道北・上川の近現代史を中心に－」を行いました。

午後の部は、道立図書館から Zoom 配信で「特色ある児童サービスについて 道内事例ピックアップ」と題し、情報提供を行いました。


Zoom 配信 ▶






## (2) 重点運営支援事業（1町）

重点運営支援事業は、図書室の活性化を図ろうとする市町村に対し、年間を通して重点的な支援を行う事業です。新刊書を毎月約100冊ずつ、年間で合計約800冊貸し出すほか、運営相談等を実施することで、図書室全体の活性化を目指します。

令和3年度（2021年度）は浜中町総合文化センター図書室を対象としました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、5月と8月の訪問を中止するなど困難な状況もありましたが、資料を提供して助言を行い、浜中町からも改善の状況について報告があるなど、電子メール等も併用しながら運営相談を行いました。

 資料送付・電子メールによるオンデマンド

管内	町名	実施日	相談内容（運営相談事業）
釧路	浜中町	5/13 (訪問中止・資料送付)	・現状と課題を踏まえた事業計画について ・新刊書の貸し出しについて 
		6/4 (メール)	・サインや案内表示について ・企画展示について ・未利用者を視野に入れた広報・PRについて 
		12/21	・広報の工夫について ・図書室の運営と環境改善について
		2/16 (メール)	・資料展示とテーマについて 

### ◆◆◆活用事例紹介◆◆◆



円形の吹抜（左）を囲むような形の図書室。配置換え後、吹抜周りにある木製のキャレル等も減らし、すっきりさせました。

#### 浜中町総合文化センター図書室

町総合文化センターの2階にある図書室は、1階の郷土資料展示室の円形の吹抜をぐるりと囲むように、ドーナツを半分に割ったような特殊な形をしています。手狭にもなってきたおり、効率的なレイアウトと、幅広い年代の町民が気軽に利用できる雰囲気にしたとの希望がありました。

前期は道立図書館からの出張を中止せざるを得ず、直接訪問しての助言はできませんでしたが、浜中町では、5月～6月の緊急事態宣言の休館期間を利用して閲覧机を減らし、書架の配置換えをして、サインを改めるなど、図書室の改善に取り組みました。また、本の表紙を見せる配架を工夫したところ、重点運営支援の新刊書を含めた図書室全体の7月の利用（貸出し）は、実用書・読み物ともに増加しました。

12月の訪問時には、図書館内を見て古い資料の除架や配架について助言しました。また、広報活動の強化や、図書室と隣接する視聴覚室との一体化など、将来の施設改修の構想に向けたレイアウト変更の提案も行いました。



## ■令和3年度市町村活動支援事業実績報告

5月～1月 貸出冊数	実用書	読み物	児童書	計
R3年度図書室全体	1,198	953	4,104	6,255
(参考) R2年度	952	782	4,291	6,025
前年比 (%)	125.8	121.9	95.8	103.8

(毎月の「新刊書利用状況等調査票」をもとに作成)

新刊書の貸出期間(5月～1月)の図書室全体の貸出冊数は、前年比で103.8%でしたが、特に実用書と読み物については、20～25%の増加がありました。事業の利用をきっかけに、改めて資料の展示や配架の工夫が利用に結びつくことなどの手応えも感じられたようでした。



閲覧机を減らしたほか、児童書の書架の向きを90度変えたことで、見通しよくすっきりしました。書架の側面にも、分類を表示しています。



BEFORE

柱を有効活用して木製の棚をつけ、展示スペースにして遠くから見える表示をつけました。



### (3) 学校図書館運営相談事業・道立学校図書館運営相談事業

(1町、道立学校3校)


この事業は、市町村立図書館(室)による学校図書館への支援や、道立学校図書館の運営等について、道立図書館の職員が助言や情報提供を行うものです。

市町村教育委員会や図書館(室)の職員と一緒に直接学校を訪問して、学校図書館の運営相談等も行います。

令和3年度(2021年度)の利用状況は次のとおりです。



オンライン (Zoom 利用)

管内	町名・学校名	実施日	相談内容
空知	岩見沢 高等養護学校	7/28	・図書館内のレイアウト ・除架について
	深川東高校	10/15	令和3年度空知管内高等学校図書館教育研究会 「学校図書館のレイアウトを考えよう 紙上ビフォー・アフター」
十勝	幕別清陵高校	6/9	・開館に向けた閲覧室内のレイアウト(新設校) ・図書館運営について 
		7/15	・書架の配置 ・図書館の運営状況について
	清水町 【清水小学校】	8/6	・除架と除籍について ・学校図書館のリニューアルについて など

(4) 学校ブックフェスティバル事業 (16 市町村)

学校ブックフェスティバル事業は、学校に当館の児童書・絵本を提供し、おはなし会等を実施して、児童生徒に自由に選んで借りてもらう事業です。

日ごろ本に親しむ機会が少ない子どもたちの読書意欲を引き出し、市町村図書館等と学校、ボランティアとの連携を促進することを目的としています。

令和3年度(2021年度)は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策をとりながら、次のとおり実施しました。なお、感染症の影響により、3町での実施が中止となりました。

管内	市町村名	実施日	実施校	開催方法		参加人数	貸出冊数
				バイキング	ギャラリー		
空知	(赤平市)	6/23	赤平中学校	学年毎		174人	397冊
	(夕張市)	7/13	ゆうばり小学校	低・中・高に分けて		171人	712冊
後志	(ニセコ町)	11/9	ニセコ小学校	学年毎		250人	642冊
		11/26	近藤小学校	低・高に分けて		45人	110冊
	(喜茂別町)	12/7~10	喜茂別中学校	学年毎		42人	103冊
		12/15	喜茂別小学校	○		69人	339冊
胆振	(壮瞥町)	1/28	壮瞥小学校		○	89人	1,000冊
日高	様似町	8/20	様似小学校	低・中・高に分けて		144人	671冊
	(えりも町)	8/31	えりも岬小学校	○		26人	127冊
	(新冠町)	9/27	朝日小学校	○		34人	107冊
渡島	(八雲町)	2/16	熊石小学校		○	48人	500冊
	(福島町)	6/15	福島小学校	低・中・高に分けて		81人	601冊
檜山	(奥尻町)	6/9	青苗小学校		○	32人	300冊
上川	士別市	10/27	士別南小学校	低・中・高に分けて		300人	954冊
	(富良野市)	7/20	布部小学校		○	4人	50冊
		9/6	布礼別小学校	○		10人	120冊
		11/16	鳥沼小学校	○		28人	212冊
留萌	(羽幌町)	12/17	羽幌小学校	学年毎		262人	721冊
	(初山別村)	7/12	初山別小学校		○	36人	200冊
釧路	(釧路町)	11/2	別保小学校		○	202人	750冊
		12/10	富原小学校	低・中・高に分けて		419人	972冊
合計							9,588冊

※(市町村名)は、職員を派遣せず図書等の貸出しのみを実施。

(5) 学校図書館サポートボックス事業 (16市町村 のべ40セット)

学校の朝読や昼読、調べ学習等で活用できる本をセットで貸し出すもので、学校図書館での活用をはじめ、学級文庫や市町村立図書館(室)での貸出しなど、幅広く利用していただけます。貸出期間は約半年のセットと約2か月間のセットの2パターンで、夏・冬休み中の貸出し、複数の学校で巡回をさせるなど、色々な使い方ができます。

令和3年度(2021年度)は、全12種類活用されました。

令和3年度 セット名	利用市町村
アイヌ文化を知る本	白老町、名寄市、富良野市、愛別町
北海道を知る本N (Nature)	喜茂別町、愛別町
北海道を知る本H (History)	愛別町
授業お役立ちセットM (光村図書)	白老町、羅臼町
授業お役立ちセットK (教育出版)	赤井川村、奥尻町、富良野市、愛別町、羅臼町
中高生向けおすすめセットA (ノンフィクション)	ニセコ町、富良野市
中高生向けおすすめセットB (フィクション)	喜茂別町、中川町、苫前町
体力向上・スポーツボックス	喜茂別町、富良野市、斜里町
朝読・昼読ボックス	倶知安町、長万部町、奥尻町、富良野市、釧路町
仕事ナビボックス	富良野市、鹿追町、羅臼町
Hokkaido 愛食・食育ボックス	喜茂別町、富良野市
理科読セット	倶知安町、富良野市、愛別町、中川町

**NEW!** 「学校図書館サポートボックス」は令和4年度から「**サポートボックス**」へ事業名を変更しました!

中身が分かりやすいよう、一部のセット名を変更

旧セット名	新セット名
アイヌ文化を知る本	アイヌ文化はじめてセット
北海道を知る本H	文化歴史ボックス
北海道を知る本N	自然ボックス
授業お役立ちセットM	★小学国語(光村〇年)セット
授業お役立ちセットK	★小学国語(教育〇年)セット
中高生向けおすすめセットA	中高生ノンフィクションセット
中高生向けおすすめセットB	中高生 小説セット
Hokkaido 愛食・食育ボックス	食育ボックス



★小学国語セット(旧授業お役立ちセット)は学年ごとにコンテナを分け、より使いやすくなりました。学年単位で貸出できます!(1学年1コンテナ)

◆◆◆活用事例紹介◆◆◆

活用の様子について、利用アンケートから一部を抜粋します。次年度以降の参考に！

**富良野市立布礼別小学校**

- ・利用セット：理科読セット
- ・貸出期間：前期（4月下旬～9月下旬）

理科に関する絵本や読みもの 約 230 冊

図書館と、別の階にある小上がりのスペースに置きました。スペースに限りもあったので、定期的に入れかえて利用しました。特に低学年男子がよく利用していました。4類図書が比較的少ない学校だったので、助かりました。



**羅臼町立春松小学校**

- ・利用セット：授業お役立ちセット K（教育出版・国語）  
M（光村図書・国語）
- ・貸出期間：1期（4月下旬～7月下旬）

K：『ひろがる国語 小学国語』（教育出版）、M：『国語』（光村図書）で紹介している本  
約 160～170 冊



**喜茂別町立喜茂別中学校**

- ・利用セット：北海道を知る本＜Nature～自然・動植物編～＞
- ・貸出期間：2期（8月下旬～12月下旬）

北海道の自然や動植物について理解を深める本 約 40 冊

ブックトラックにのせて廊下に展示し、休み時間にいつでも見ることができるようにしていました。総合的な学習の時間に熊の被害について学習する場面があり、活用している生徒がいました。

**北海道苫前商業高等学校**

- ・利用セット：中高生向けおすすめセット B（ノンフィクション）
- ・貸出期間：1期（4月下旬～7月下旬）

哲学、自然科学、スポーツなど幅広いジャンル  
約 160 冊

高校への読書活動支援として活用しました。子ども読書推進計画で高校への支援を課題としていたので実施できよかったです。

## (6) 支援貸出し

### ■ 大量一括貸出し (32 市町村)

協力貸出しとは異なり、一度にまとまった数の図書を数か月間貸し出すもので、住民への貸出しはもちろん、学校への貸出し等にも利用いただけます。

令和3年度(2021年度)は、32市町村に約20,800冊の貸出しをしています。

※令和4年2月末時点実績

### ■ 事業貸出し (25 市町村) ● 令和4年度の新規セットは22ページの「お知らせ」で紹介!

大型絵本、しかけ絵本、エプロンシアター、おはなし迷路、外国語絵本などを貸し出すもので、図書館まつりをはじめ、学校・幼稚園・保育所・健診会場等で行うイベント、ボランティア団体等が主催するイベント等で利用いただけます。

令和3年度(2021年度)も、新型コロナウイルス感染症により、おはなし会などの行事が影響を受けましたが、25市町村で対策を行いながらご活用いただきました。

※令和4年2月末時点実績

#### ◆◆◆活用事例紹介◆◆◆

季節ごとのイベントのほか、春や秋の読書週間でも大活躍の支援活動用資料。今年度後期に活用された事例をピックアップしてご報告します。

#### ① 北斗市 北斗市立谷川小学校 読書週間

- ・利用資料：しかけ絵本 (D、Fセット、冬・クリスマスセットB、おばけセット)
- ・参加者数：大人10人、子ども100人
- ・利用報告から

読み聞かせサークルの企画「もっとたくさん、いろいろな本に触れよう!!!」で使用しました。普段触れる事がないしかけ絵本に、子どもも大人も一緒に楽しみました。

図書室の長テーブルにたくさんのしかけ絵本を並べ、学年ごとに児童がお気に入りの本を選んで、床(じゅうたん)に広げて一人で読んだり、数人で一緒に読んだりしました。



#### ② 陸別町 子育て支援センター クリスマス会

- ・利用資料：大型紙芝居 2冊 『ふゆのよるのおくりもの』『まどから★おくりもの』
- ・参加者数：大人3人 子ども3人
- ・利用報告から

普段は通常のおおきさの絵本で読み聞かせを実施しているため、見慣れない大型絵本に子どもたちは興味津々で、とても喜んでいました。

また本がおおきく、離れていても絵が見やすいので、子どもたちとの距離を取って密を回避することが出来ました。今後も是非お借り受けしたいと思います。



## 令和3年度全道図書館専門研修報告 2

前号に引き続き、今年度開催した全道図書館専門研修についてご報告します。感染症対策にご協力いただき、道立図書館を会場にして、実習や見学も行うことができました。

### 子ども読書（地域支援）

令和3年12月9日（木）～10日（金） 道立図書館

（参加者 27名）

テーマ「すべての子どもたちに読書を～幼児教育施設等就学前の子どもたちに向けて～」

◆ 幼児教育施設（幼稚園・保育所等）など就学前の子ども読書活動を推進するためにブックスタートなど、乳幼児を対象とした子育て支援から、学校図書館との連携へと、継ぎ目なく子どもの読書活動を推進するため、幼稚園や保育所といった幼児教育施設など就学前の子ども読書活動に対する支援・連携を中心に、すべての子どもたちに読書の楽しさを届ける方策について考える研修を行いました。

#### ● 乳幼児に向けた絵本と読み聞かせ

研修のスタートとして、乳幼児向けの絵本の読み聞かせについて、講義と実習を行いました。

言葉の意味がまだわからない乳児にも、読み聞かせを通じて様々な音を聞かせることの重要性や、乳幼児向けの絵本の特徴や選書方法について、選書リストや現物を紹介しながらお話しいたきました。

読み聞かせ実習では、読み手に適した声の高さや姿勢を確認した後、各自が持参した絵本を2人組になって読み聞かせ、互いに良い点や改善点を述べ合いました。講師からも読む速さやページのめくり方について指摘を受けたほか、「自分の読み聞かせの声を録音して客観的に聞いてみる」という具体的な練習法を教えていただき、参加者は練習意欲をかき立てられたようでした。



#### ● 北海道教育庁幼児教育推進センターの事業と取組

幼稚園教育要領では、言葉の領域で「絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かに」とねらいが示されており、幼児教育施設においても絵本やお話を重視していることや、幼児教育と小学校教育の連携の重要性や難しさについて解説しました。一方で、所有する絵本などの数は、施設の規模などによりさまざま、そこに図書館からの支援の必要性があることを指摘しました。

#### ● 北海道ブックシェアリングの活動について

「格差のない読書機会を享受できる北海道づくり」を目指す活動を紹介していただきました。公立図書館の設置率や学校図書館の1校あたりの図書購入費など、道内における読書環境の地域格差についての解説のあと、読み終えた図書の再活用事業や図書・読書関連イベントのほか、「学校図書館サポートセンター」をはじめとする学校図書館支援事業についても紹介していただきました。

● 市立小樽図書館「たるばとプロジェクト」の幼保支援の取組を紹介

小樽市の子どもの読書活動推進計画に基づく図書館の子ども読書事業「たるばとプロジェクト」の活動について、事例発表いただきました。

特に幼稚園・保育所との連携については、「幼保支援メニュー」の3つの柱が紹介されました。幼稚園や保育所が図書館に来館し、利用やお話を体験する「来館型」、図書館が幼稚園や保育所に訪問しブックフェスティバルや図書館バス見学などを行う「訪問型」、大型絵本やエプロンシアター、DVDなどの資料のほか、プロジェクターといった視聴覚機器まで貸し出す「貸出型」があり、特に訪問型体験メニューが人気だそうです。また、園側の負担が少ない開催方法を考えているといった留意点にも触れていただきました。



※「たるばと」とは…小樽市の鳥アオバトからとられた図書館のキャラクター「たるばとちゃん」のこと。

● わがまちの子ども読書事業を企画する



研修のまとめとして、参加者それぞれのまちで行う子ども読書事業を企画し、ちらしを作成する演習を行いました。

それぞれのまちの事情や課題をもとに、年齢層など対象者を意識して事業を考え、目を引く魅力的なキャッチフレーズとともに、味のある手描きちらしを作成しました。予算や人手などは一旦考慮しないことにして、自由な発想で子どもと本とを結ぶ事業の企画に取り組みました。

《こんなアイデアが生まれました！（一例）》

- 赤ちゃんと保護者が一緒に楽しめる「おんがくと絵本の夕べ」
- 小学校3～6年生対象「おいしい絵本大集合『しろくまちゃんのホットケーキ』づくり」
- 保護者や先生に向けた年齢クラス別絵本の紹介と読み方の講座  
「目指せ！わが子の絵本マスター！！」
- 町民みんなで人気の絵本を投票しベスト10を決定「〇〇町絵本大賞」

講義・実習「乳幼児に向けた絵本の読み聞かせ」	絵本専門士（札幌市図書情報専門員）	笹山 愉香
情報提供「幼児教育推進センターの活動から」	北海道教育庁幼児教育推進局幼児教育推進センター主査	松浦 隆史
講義「ブックシェアリングの活動について」	一般社団法人北海道ブックシェアリング代表理事	荒井 宏明
事例発表「図書館緊急指令『たるばとプロジェクト』発進！！ ～『幼保支援メニュー』の取組～」	市立小樽図書館主査 司書	伊藤 佳織 安部さやか
情報交換	北海道立図書館総務企画部企画支援課企画主幹（子ども読書）	西岡 祐子
演習・まとめ「わがまちの子ども読書事業を企画する」	北海道立図書館総務企画部企画支援課企画主幹（子ども読書）	西岡 祐子

**経営（関係法規）**

令和4年1月14日（金）10:30～15:50 道立図書館

（参加者 20名）

テーマ「誰もが読書できる図書館を目指して」

令和3年度最後の全道図書館専門研修〈経営（関係法規）〉は、2019年に成立した「読書バリアフリー法」を中心とした図書館の障がい者サービスについての研修ということで、図書館関係者の関心も高く、当初は30名を超える参加申込みをいただきました。しかし、新型コロナウイルス感染症第6波への警戒感の高まり、さらには研修当日たいへんな悪天候に見舞われたことから、最終的に20名を迎えての研修となりました。

● 研修の導入として、読書バリアフリー法も踏まえた第6期北海道障がい福祉計画についての概要を参加者皆で共有しました。

● 講義「障がいのある方への生涯学習支援」では、関係法令が整備されてきた過程や北海道の現況などの基本的な情報提供、実践事例の紹介などに始まり、さまざまな障がいの特性により、どのようなことが苦手な場合があるのか等についても解説がありました。

● 事例紹介「点字図書館の仕事について」では、札幌市点字図書館がどのような施設であるのか、また業務内容やボランティアとの連携について、さらには現状の課題などもお話しいただきました。講師のお話の後、参加者から多数の質問があがり、関心の高さが伺えました。

● 最後の事例紹介「図書館利用に障害のある人々へのサービス」では、はじめに障がい者サービスとは何であるのか、何のために行うのかという定義と目的を明確にした上で、ハンディキャップに



「図書館利用に障害のある人々へのサービス」

対応したLLブックや大活字本などの資料の紹介、サービスを必要としている方々へのアプローチの方法などについて、具体的にご紹介いただきました。

研修の終わりには、カウンターに用意しているコミュニケーションボードや、閲覧室に設置している拡大読書機、車いす対応昇降テーブルなどを見て回る20分程度の館内設備見学ツアーを行いました。

悪天候の中おいでいただいた皆さま、ありがとうございました。



「館内設備見学ツアー」

講義①「第6期 北海道障がい福祉計画について」

北海道保健福祉部障がい者保健福祉課社会参加係長 長多 将嗣

講義②「障がいのある方への生涯学習支援」 留萌教育局教育支援課社会教育指導班主査 高橋枝里子

事例紹介「点字図書館の仕事について」

札幌市視聴覚障がい者情報センター 遠藤 宏明（札幌市保健福祉局障がい保健福祉部）

事例紹介「図書館利用に障害のある人々へのサービス」

日本図書館協会障がい者サービス委員会委員 椎原 綾子（目黒区立八雲中央図書館主任）

# 道内図書館キャラクター紹介！

Vol.2

HP や SNS での広報活動のほか、オリジナルグッズの作成などにも力を発揮する図書館キャラクター。道内各地域で活躍中の、個性豊かなキャラクターたちを紹介します！（説明文・キャラクター画像は各図書館からご提供いただきました。ありがとうございます！）



## ニコットちゃん

余市町図書館



開館時にデザインを、開館20周年の時に名前をそれぞれ一般公募し決定しました。

りんごに座って本を読む子どもは未来を、小鳥は図書館での出会いを表現しており、「ニコットちゃん」という名前は、「図書館で本を読んでニコツとなるように」という願いを込めて、小学生が命名してくれました。

## た カモメのよめ太

森町図書館



「よめ太」は、平成26(2016)年4月、森町の鳥「カモメ」をモチーフに誕生しました。

翼は本、帽子のリボンはしおりで、森町の町章と同じくブルーとグリーン色の2色を使用しています。

道内の「図書館キャラクター」情報をぜひお寄せください。自薦・他薦問わず大募集中です！

求む！図書館キャラクター情報

## ■お知らせ

### (1) 事業貸出し〈学習支援セット〉に「縄文文化セット」が仲間入り

令和3年(2021年)7月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたことから、児童生徒の学習や興味関心に応える本のセットをつくりました。

4月以降利用開始予定

縄文時代の衣・食・住や信仰など、縄文文化について学べる資料のほか、縄文時代を舞台にしたり、題材に取り上げたりした絵本や読み物なども含め、児童書から一般書までを集めています。

対象：小学校～高校  
冊数：20冊程度  
セット数：2

図書館・図書室の**テーマ展示**に！  
学校図書館での**調べ学習**に！

ご利用いただけます。



### (2) 令和4年度(2022年度)大会・研修会等情報

前号の発行後に連絡のあった研修会の日程(予定)について、お知らせします。

実施日【予定】	事業名	おもな主催機関・団体	開催地(会場)
10月 20日～21日	北日本図書館連盟研究協議会	北日本図書館連盟	秋田県秋田市
11月 16日～18日	図書館地区別(北日本)研修会	文部科学省 宮城県図書館	宮城県

### (3) 第61回北海道図書館大会記録について

令和3年(2021年)9月にオンライン開催した第61回北海道図書館大会の記録を、道立図書館ホームページで公開しています。大会期間中に動画配信した内容を、講演・講座ごとにまとめた文章で振り返っていただけます。ぜひご覧ください。

道立図書館 HP トップ：図書館の方へ>北海道図書館振興協議会>刊行物「図書館大会記録」  
[https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/copy\\_of\\_index.html](https://www.library.pref.hokkaido.jp/web/relation/copy_of_index.html)

#### ◆ 主な内容 ◆

- ・基調講演「届きにくい本の届け方 2021」  
講 師：幅 允孝(有限会社 BACH 代表 ブックディレクター)
- ・トピック「アイヌ文化の情報発信のために 国立アイヌ民族博物館の役割」  
情報提供：佐々木 史郎(国立アイヌ民族博物館長)
- ・第1講座「これからの大学図書館像～研究情報資源のアクセシビリティ」
- ・第2講座「図書館で本と出会う即興劇 15 編」
- ・第3講座「学校図書館の歩み～「人」をめぐる歴史と展望」
- ・第4講座「北海道立総合研究機構(道総研)の技術情報提供活動のご紹介」
- ・第5講座「北海道の出版文化を守ろう!!～出版社と図書館の連携～」

(4) 支援貸出用資料譲渡のお知らせ

# 当館で除籍となった 支援活動用資料をお譲りします

支援活動用資料は、主に市町村立図書館、公民館図書室等の活動支援を目的として収集した資料です。

この支援活動用資料のうち、大量一括貸出し等で一定の期間市町村で利用され、保存年限を経過したものを除籍し、道民の皆さんにご活用いただくため、無償でお譲りします。

**1箱から送付可能！  
お気軽にお申し込みください。**

## ◆◆◆◆◆ 申込みと利用についての注意 ◆◆◆◆◆

[資料について]

- ・ 選べる内容は「文学」「児童書」「実用書」の3種類です。
- ・ いずれも約15～20年前に発行された資料が中心です。
- ・ 資料は箱単位で送付します。  
(1箱30～50冊程度。資料のサイズ等によりバラツキがあります。)
- ・ 1箱の中に複本がある場合があります。
- ・ 資料のバーコード・蔵書印は、消印を押印してあります。

[申込みについて]

- ・ 電話や図書館ポータルによる申込みは受け付けておりません。  
メールまたはFAXでお申し込み下さい。
- ・ 1回の申込受付は、文学、児童書、実用書それぞれ3箱までとします。
- ・ 資料到着後の交換・返本の希望には沿いかねます。

[利用について]

- ・ 有償での譲渡はご遠慮ください。

※ 譲渡可能資料の在庫がなくなり次第終了し、図書館ポータルでお知らせします。



### 【申込み・問合せ先】

北海道立図書館総務企画部企画支援課

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

Eメール shienka@library.pref.hokkaido.jp

## 支援活動用資料譲渡申込書（兼 FAX 送信票）

北海道立図書館 企画支援課 行  
FAX 011-386-6906

年 月 日

図書館（室）名：

連絡先：TEL（        ）        —

FAX（        ）        —

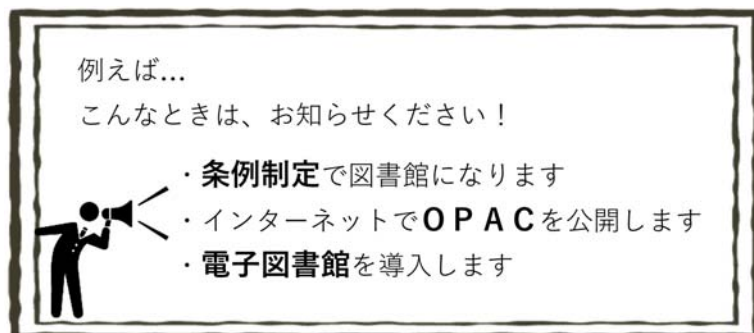
担当者職・氏名：

希望する資料の申込欄に○をつけ、箱数をご記入ください。

※ 申込み後に担当者から確認のご連絡を差し上げる場合があります。

申込欄	分類	箱数	使用目的
	文学	箱	
	児童書	箱	
	実用書	箱	

※ 1箱 30～50冊程度。資料のサイズ等によりバラツキがあります。



## 編集後記



令和3年度最後の「あけぼのつうしん」発行です。この1年も新型コロナウイルスに翻弄された年でした。図書館（室）でのイベント開催の可否など、判断を迫られる場面も多かったのではないのでしょうか。

これからのことがまだまだ想像できない状況ですが、今回トピックスで取り上げたような各図書館（室）での、今`だからこそ`の意欲的な取り組みの様子や、大きな行事が中止になってしまった学校からの「子どもたちの思い出作りにせめて楽しい読書イベントをしたい」といった言葉に励まされています。来年度も様々なエピソード、お待ちしております。

企画支援課では、みなさんの図書館（室）の活動の情報を集めています。  
好評だった事業、新しく始めた取組、ホームページのリニューアルなどなど、いつでも受け付けています。

『あけぼのつうしん』読後の感想も歓迎します。よろしくお願ひします。

[shienka@library.pref.hokkaido.jp](mailto:shienka@library.pref.hokkaido.jp)



※紙面の都合により、敬称を省略させていただきました。

## あけぼのつうしん No. 79

発行日 令和4年（2022年）3月25日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <https://www.library.pref.hokkaido.jp/>